



施策の見方 P17~P18

夢やふるさとへの誇りを持ち、市民が主役のまちづくり P19~P46

魅力にあふれ、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくり ... P47~P76

世界に誇れる強みや魅力を醸成し発信するまちづくり P77~P98

安全・安心で快適に暮らせるまちづくり P99~P120



施策の見方

施策番号

施策大綱、基本目標、施策の対応を示す、その施策の通し番号を示します。

目指すべき姿

本施策を推進することで10年後に目指す姿を示します。

施策イラスト

本計画冒頭の見開きイラストの中から、本施策に関するイラストを掲載しています。

本市の現状

本施策をとりまく本市の現状を示します。

課題

本市の現状を踏まえて、本施策で目指すべき姿を実現するために必要なことを示します。

施策名

施策大綱に基づく基本計画の施策名を示します。

SDGsマーク

本施策がSDGsのどの目標と関連するかを示します。

結婚・出産 子育て支援の推進

1-1-1 今治の未来を育む、子育て世帯への切れ目ない支援

目指すべき姿

子育て・子育てを切れ目なく伴走型で支援する「今治版ネウボラ」を多世代が関わる大きな輪へと広げ、若い世代が自らの希望に沿ったライフデザインを描けるまちを目指します。

現状と課題

本市の現状

1 社会情勢の変化と結婚や子育てに対する意識の変化

家族の在り方や働き方が大きく変化する社会情勢の中において、結婚や出産・育児に関する考え方が多様化しており、それぞれのニーズに対応する柔軟な支援策が求められるようになっていきます。

2 切れ目ない伴走型支援の必要性

ひとり親家庭や核家族が増える中で、子育てに関する不安や孤立感を感じる人が増加しており、ライフステージを通じた切れ目ない伴走型の相談支援の必要性が高まっています。

3 包括的な支援体制の必要性

子育て支援サービスの充実が進む中、国・自治体共に、妊娠から子育て期までを包括的に支援する体制の構築が進められています。本市でも「今治版ネウボラ」による継続的支援や、子育てアプリなどの情報提供ツールの活用を進めています。

子育てに対する不安等を感じる人の割合(%)



出所:今治市子ども・子育て支援事業におけるニーズ調査

課題

1 ライフステージに応じた切れ目ない支援の実施と伴走型の相談支援体制の充実

結婚・妊娠・出産・育児に関する考え方が多様化する中、一人ひとりのライフデザインや子どもの成長段階など、家族の状況に応じた切れ目ない支援を充実させるとともに、悩みや不安に寄り添う伴走型の相談支援を行うことが必要となっています。

2 子育て支援に関する多様な情報の効果的な発信

子育て支援サービスの充実が進む中、必要とする人が、ニーズに応じた正確な情報を得ることができるよう、多様な情報を効果的に発信することが求められています。

3 結婚、子育てへの希望が持てるような環境整備

若い世代が子育てに触れる機会が少なく、家庭・子育てを前向きに捉えるような体験の場が限られています。若い世代が希望をもって将来を見通し、自らが望んだ時に安心して結婚や子育てを進むことができるような環境づくりが必要となっています。

主要な取り組み

「目指すべき姿」の実現に向けた取り組み方針(主要な取り組み)を示します。詳細な内容やここで示されない取り組みは実施計画により管理します。

主要な取り組み

1 妊娠期から子育て期までの切れ目ない子育て支援

社会状況や子育て家庭をめぐる環境が変化の中で身近に相談できる人がいない家庭などの子育てに関する不安や悩みを受け止め、サポートできるよう、子どもや若者、子育て世帯のライフステージに応じて切れ目なく寄り添い、伴走型の相談支援を行います。

2 こども・若者、子育て世帯にやさしい社会づくりのための機運醸成

こども・若者、子育て世帯にやさしい社会づくりのための機運醸成に取り組みます。若い世代が自らの主体的な選択により、結婚し、子どもを産み、育てたいと望んだ場合に、それぞれの希望に応じて社会全体で支えています。

3 若い世代がライフデザインを描けるよう、意識啓発や情報提供の強化

妊娠や出産について正しい知識を身に付け健康管理を行うプレコンセプションケアをこども・若者に啓発することや子育て支援についての必要な情報を若い世代の視点に立って発信し、それぞれが自らの希望に沿ったライフデザインを描けるよう、意識啓発や情報提供に取り組みます。

●関連する個別計画

計画名	計画期間
今治市子ども計画	令和7年度～令和11年度

みんなでできること



- 地域の子どもを地域全体で育てるという思いを持って子育て支援に参画することで、安心できる環境を育みましょう。
- 誰もが育児休業を気軽に使える職場づくりで、子育てと仕事の両立を後押しし、安心して働ける環境を広げましょう。



※今治版ネウボラ/妊娠期から18歳までの子どもがいるすべての家庭を支援対象とし、子育て支援を切れ目なく、包括的に行っていく仕組み。
※プレコンセプションケア/性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行うこと。

インデックス

各施策大綱のページ範囲を各テーマカラーで示します。

関連する個別計画

本施策に関連して別途策定している個別計画等を示します。本項目がない施策については、本施策に関連する個別計画がないことを示しています。

みんなでできること

市民や団体、民間事業者の皆さまに本施策を「自分ごと」として捉えていただけるよう、本施策を推進するうえで皆さまと一緒に実施していきたいことを記載しています。

関連データ

本施策を進めるための裏づけとなる関連データを示します。

夢やふるさとへの誇りを持ち、市民が主役のまちづくり

魅力にあふれ、住み続けたい、帰ってきたいと思えるまちづくり

世界に誇れる強みや魅力を醸成し、発信するまちづくり

安全安心で快適に暮らせるまちづくり